

授業概要

飛鳥時代から江戸時代にわたる日本美術の歴史について、絵画、彫刻、工芸の代表的な作品を取り上げる。各時代の初回に時代背景、造形表現の特徴など、取り上げる時代の特徴をまとめる。そのうえで、前時代からの流れ、次の時代への発展の過程についても意識しながら、作品を鑑賞するための基礎知識や美術史研究の手法について講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	飛鳥時代(1) 絵画、工芸
第3回	飛鳥時代(2) 彫刻
第4回	奈良時代(1) 絵画、工芸
第5回	奈良時代(2) 彫刻
第6回	平安時代(1) 絵画、工芸
第7回	平安時代(2) 彫刻 1
第8回	平安時代(3) 彫刻 2
第9回	鎌倉時代(1) 絵画、工芸
第10回	鎌倉時代(2) 彫刻 1
第11回	鎌倉時代(3) 彫刻 2
第12回	室町時代 絵画
第13回	桃山時代 絵画
第14回	江戸時代(1) 絵画
第15回	江戸時代(2) 絵画、工芸
第16回	筆記試験

到達目標

日本美術を代表する絵画、彫刻、工芸などの作品について、作者、時代背景、造形表現の特徴などの基礎知識を身につけ、日本美術史の流れ、作品の鑑賞方法を理解する。

履修上の注意

- ・私語、遅刻、途中退室をしないこと。
- ・美術のほか、日本の歴史、文化に興味があることが望ましい。
- ・授業中、スクリーンに映される作品をよく見る習慣をつけ、作品の特徴を理解するように努めること。
- ・なるべく多くの博物館・美術館の展覧会に足を運び、積極的に実際の作品を鑑賞する機会をもつこと。

予習・復習

- ・授業前に、日本史の教科書などで取り扱う時代の文化史の部分を読んでおくこと。
- ・授業で紹介した作品について、美術全集などのカラー図版をみて、作品の特徴を再度理解すること。

評価方法

期末試験(70%)、コメントペーパー(30%)によって評価する。

テキスト

- ・教科書は使用しない。参考文献を授業内で紹介する。
- ・資料を毎回配布する。